



2025年1月30日

各 位

会 社 名 アストマックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 本多 弘明
(東証スタンダード・コード 7162)
問合せ先 執行役員 西潟 しのぶ
電話 03-5447-8400

2025年3月期第3四半期連結業績速報値と2024年3月期第3四半期連結業績との差異見込み および営業外収益の計上に関するお知らせ

2025年3月期第3四半期の連結業績は、2025年2月3日(月)に開示の予定ですが、決算の概要がまとまりましたので、下記のとおり速報値としてお知らせいたします。なお、速報値につきましては、現時点で当社が合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は速報値と異なる可能性があります。

この結果を受け、2025年3月期第3四半期(2024年4月1日～2024年12月31日)と2024年3月期第3四半期(2023年4月1日～2023年12月31日)の業績に差異が生じる見込みとなりましたのでお知らせいたします。

また、営業外収益を計上いたしましたので、併せてお知らせいたします。

各セグメントの概要説明は、2月3日に開示する2025年3月期第3四半期決算短信にてお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期第3四半期連結業績速報値(2024年4月1日～2024年12月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益
2025年3月期第3四半期 連結業績速報値	15,056	357	398	349
2024年3月期第3四半期 連結業績(実績)	10,887	377	238	201
増減率(%)	38.3	△5.2	67.0	73.6

※ 当第3四半期連結累計期間の営業収益における電力取引関連事業に係るヘッジ目的で行う電力先物取引による影響は以下のとおりです。

当第3四半期連結累計期間のヘッジ目的で行う電力先物取引による営業収益への影響は以下のとおりです。当第3四半期連結会計期間末を越えて受渡しが行われる電力現物先物取引は時価評価の対象ではありませんが、当該取引をヘッジする目的で行う電力先物取引はデリバティブ取引として時価評価の対象となります。電力先物取引のうち、一部取引所では取引所の規定によって3か月以上の期間のポジションは期末が近付いた段階で決済され、より短い期間の新たなポジションに分割されます。これに伴う決済利益6百万円(純額①-1)と、当第3四半期連結会計期間末を越えて限月を迎える電力先物取引の時価評価損4百万円(純額①-2)は、当第3四半期連結会計期間末を越えて受渡しが行われる電力現物先物取引と同一の会計期間に認識されないため、純額では当第3四半期連結累計期間の営業収益を押し上げ、電力取引関連事業のセグメント利益を増加させる要因となっております。

一方、同様の理由で、当第3四半期連結累計期間に受渡しが行われる電力現物先物取引をヘッジする目的で行われた電力先物取引に係る前連結会計年度に認識された決済損失10百万円(純額②-1)及び時価評価損24百万円(純額②-2)は当第3四半期連結累計期間の営業収益を押し上げ、電力取引関連事業のセグメント利益を増加させる要因となっております。

①と②を総合すると、結果として当第3四半期連結累計期間の営業収益とセグメント利益はそれぞれ合計37百万円(37=6-4+10+24)押し上げられております。

2. 2025年3月期第3四半期連結業績速報値と2024年3月期第3四半期連結業績との差異の理由

2021年秋以降、「中期ビジョン2025」に沿って、事業の選択と集中等を行い、事業基盤の強化・再構築を進めております。電力取引関連事業において、冬場の電力需要増やヘッジニーズの高まり等を受け、取引量が増加したこと等により営業収益は増加いたしました。前年度は系統用蓄電池事業開始に係るアレンジメント業務等による営業収益289百万円を計上していたこと、加えて、人件費及び物価上昇による各種サービスの利用料等の増加もあり営業利益は微減いたしました。しかしながら、電力小売事業にて顧客への電力供給が安定的に行われたこと、当社グループが所有する2.1MW規模の太陽光発電所が4月末に完工したこと、3に記載のとおり営業外収益を計上したこと等により、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は増加いたしました。

3. 営業外収益の内容

当社は、系統用蓄電池事業のアレンジメントを国内の複数個所において進めておりますが、エリア分散の観点から2024年12月に1件譲渡し、本譲渡により営業外収益151百万円（投資有価証券売却益）を2025年3月期第3四半期会計期間に計上いたしました。

当社は、引き続き国内の複数個所にて系統用蓄電池事業のアレンジメントに取り組んでおり、既に開示しております北海道新川の案件の運転開始は予定どおり2025年秋となります。

以上